



表彰団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動

～札幌ブロックからは南幌町の農猿と由仁町・栗山町の
そらち南さつまいもクラブの2団体が優秀賞に～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクールを開催し、**全道75団体（60市町村）の応募の中から**選考の結果、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、**優秀賞13団体、奨励賞20団体を表彰することを決定**しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年より、2年に一度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞13団体、奨励賞20団体）を表彰します。

なお、今回表彰された優秀賞の中から、来年度（令和4年度）の大賞審査により、第10回コンクールの大賞を決定します。

札幌開発建設部管内からは、9団体の応募があり、優秀賞2団体及び奨励賞2団体を表彰することが決定しました。コンクールの概要は別紙1、表彰団体及び活動内容は別紙2、3のとおりです。

札幌ブロックの表彰式は、令和4年2月から3月に開催する予定です。日時等詳細につきましては、決まり次第、お知らせします。

また、共催団体である「NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク」が決定したNPO特別賞についても、本日、NPOより公表されます。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

「わが村は美しくー北海道」運動とは、北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていかう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 土地改良情報対策官
土地改良情報対策官 佐藤 修（電話番号 011-611-0274 ダイヤルイン）
第2土地改良情報係長 三浦 啓道（電話番号 011-611-0274 ダイヤルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



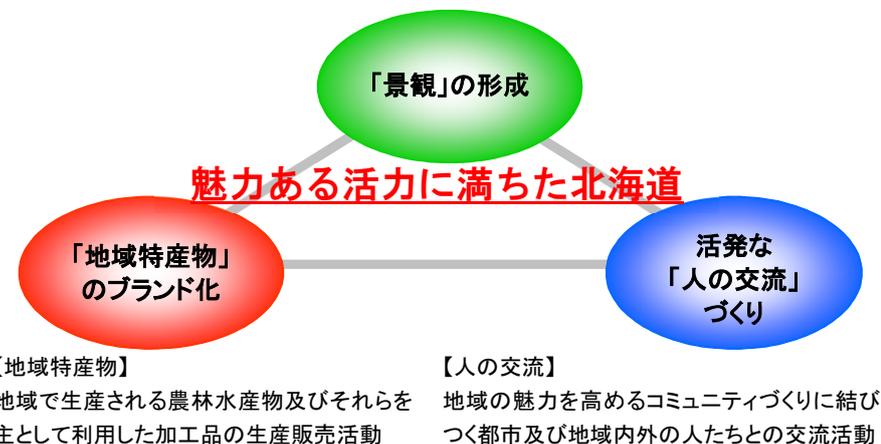


「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【参考】第9回コンクール大賞受賞団体

特定非営利活動法人 サトニクラス【月形町】
農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



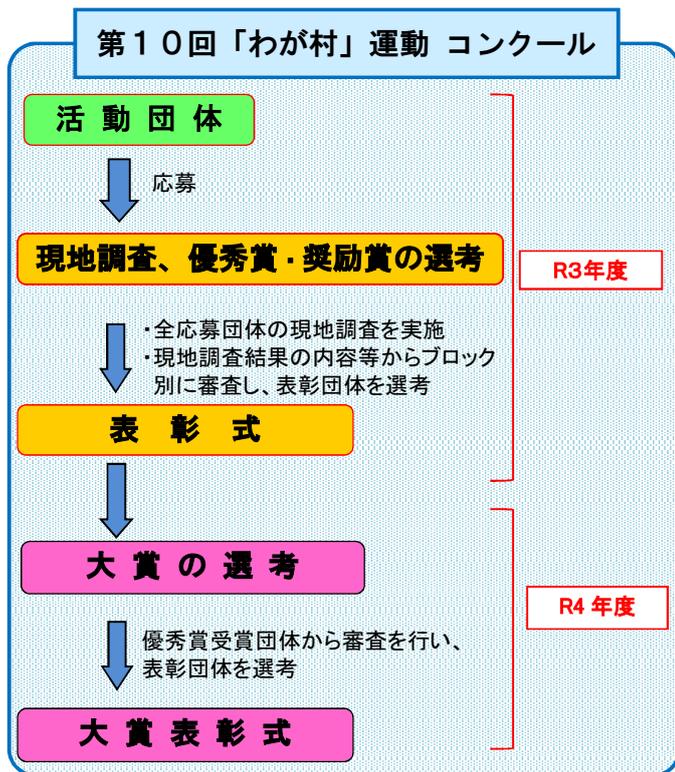
北海道真狩高等学校【真狩村】
「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げようー活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます



多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「The JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信

【別紙 2】



令和 4 年 2 月 1 日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第 10 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年より 2 年に一度コンクールを開催しており、今回で 10 回目となります。

第 10 回コンクールには全道から 75 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 20 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

○第 10 回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 60 市町村から 75 件（団体）の応募

(2) 審査経過

- ▶令和 2 年 12 月～令和 3 年 6 月：募集
- ▶令和 3 年 7 月～11 月：全道 10 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)
- ▶令和 3 年 7 月～12 月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から表彰団体を選考)
※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）[13 団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 農猿（南幌町）
- ▶ そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）
- ▶ 奥尻高等学校オキシリイノベーション事業部×奥尻ワイナリー（奥尻町）
- ▶ ベジタブルワークス株式会社（真狩町）
- ▶ 富良野市立樹海中学校（富良野市）
- ▶ けんぶちキヌア生産普及組合（剣淵町）
- ▶ 北のなのはな会（安平町）
- ▶ 有限会社 仁成ファーム（釧路市）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- ▶ えづらファーム（遠軽町）
- ▶ 北海道遠別農業高等学校（遠別町）
- ▶ 稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

【別紙 2】

(2) 奨励賞* (各開発建設部長表彰) [20団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック

- ・北海道当別高校 ボランティア局 (当別町)
- ・南区農園ガイドの会 (札幌市)

◇函館ブロック

- ・やくも元気村 (八雲町)
- ・七飯の食を考える会 (七飯町)
- ・福島町千軒地域活性化実行委員会 (福島町)
- ・やまの会 (せたな町)

◇小樽ブロック

- ・北海道倶知安農業高等学校 (日本酒プロジェクト) (倶知安町)

◇旭川ブロック

- ・北海道旭川農業高等学校食品科学科 あったか旭川まん研究グループ (旭川市)
- ・特定非営利活動法人 もりねっと北海道 (旭川市)
- ・JAたいせつ田んぼアート実行委員会 (旭川市)
- ・当麻土地改良区 (当麻町)

◇室蘭ブロック

- ・沙流太ほおずき絆の会 (日高町)

◇釧路ブロック

- ・北海道標茶高等学校 牛乳班 (標茶町)
- ・北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム (厚岸町)

◇帯広ブロック

- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班 (士幌町)
- ・メモロピーナッツ (芽室町)

◇網走ブロック

- ・北海道美幌高等学校 環境改善班 (美幌町)
- ・特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会 (西興部村)

◇留萌ブロック

- ・上田ファーム株式会社 (苫前町)

◇稚内ブロック

- ・就労継続支援B型事業所稚内市北光園 (稚内市)

(受賞団体名は順不同です)

【別紙 2】

【参考】

(3) NPO特別賞※（「NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク」理事長表彰） [6団体]

※NPO特別賞：総合的には評価されなくても、特筆すべき特徴を有する活動団体をNPOが選定。

- ◇札幌ブロック
 - ・北広島市水稲赤毛種保存会（北広島市）
- ◇函館ブロック
 - ・えさし水土里の会（江差町）
- ◇小樽ブロック
 - ・黒松内フットパスクラブ（黒松内町）
- ◇旭川ブロック
 - ・ピリカ株式会社（比布町）
- ◇釧路ブロック
 - ・別海町女性農業士会（別海町）
- ◇留萌ブロック
 - ・フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）

（受賞団体名は順不同です）



優秀賞



南幌町



「野祭～YASAI～」での餅まき

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

農猿

【南幌町】

農業体験型イベントで地域と農業の魅力を発信

はじめは？

南幌町で生産された野菜の多くは道外に出荷され、札幌圏での南幌町農産物の認知度の低さに疑問を抱いた町内の若手農業者8名が、地域おこしや地産地消を目的として平成28年に結成しました。

農業体験型イベント「野祭～YASAI～」を中心に6次産業化による南幌町農産物のブランド力向上や食育のため、常に新しい取り組みを模索しています。

おもな活動

農業体験型イベント「野祭～YASAI～」は地域おこしと「農業を身近に感じられるイベント」を目的に平成28年度から毎年9月の第1週土曜日に開催しています。

札幌圏を中心に約2,500人の来場者があり、野菜の還元販売やトラクター展示と試乗体験等を実施しています。

6次産業化への取組は南幌町農産物のPRを目的にメンバーが栽培した「ゆめぴりか」を米粉にしたドーナツやホットケーキミックス等を製作しています。

保育園を対象に「軽トラ畑」で野菜の収穫体験や、地元高校生の学校祭では、野菜の種付けから収穫までの作業と収穫物の販売体験を行っています。



米粉のドーナツ

ここが自慢

【子供たちに農業のカッコよさを伝える】

農猿は南幌町の若者が職業の垣根を越えて、地域活性化を目指す団体です。活動を通じて自分たちのセンスやスキルを磨いており、「楽しいから美味しいを創る」をモットーに、自分たちが楽しい思うことを多くの方に共有してもらうことで南幌町の魅力を次世代に伝え継承していく、永続的な活動を目指しています。これからも自分たちが楽しみながら、南幌町の地域活性化に取り組みます。



「軽トラ畑」で収穫体験

連絡先

代表者名：米田 昌樹さん／設立：2016年／会員：17名

住所：空知郡南幌町南13線西12番地

電話番号：080-3232-9080

F A X：011-378-5578

E-mail：noen.nanporo@gmail.com

URL：https://noen-nanporo.farm/



優秀賞



栗山町
由仁町



そらち南さつまいもクラブのメンバー

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

そらち南さつまいもクラブ

【由仁町・栗山町】

若手農業者たちが「由栗いも」で全国的産地を目指す

はじめは？

平成28年に由仁町と栗山町の4Hクラブの若手農業者たちが集まり、両町で農作物を使ったイベントで地域を盛り上げることができないかを考えた結果、さつまいもを作ったら「子供たちが喜んで食べてくれた」という話にヒントを得て、さつまいもを特産物とした食育活動やイベントによる両町のPRを目的に平成29年に「そらち南さつまいもクラブ」と命名して活動を開始しました。

おもな活動

クラブは栽培班と販促班の2班で活動をしています。栽培班はさつまいもの生産に関わる試験や収量調査を行い、両町に合うさつまいもの栽培マニュアルを作成し、販促班はさつまいもの販売・加工、食育活動やイベント企画などの両町の名前を受け継いだ「由栗いも」のブランディングを高める活動を行っています。夏はクラブ員の圃場視察や他地域の農家視察を行い、秋には収穫したさつまいもを使用したフェスティバルを開催し、焼き芋や加工品の販売をします。食育として両町の保育園児や小学生を対象に植付や収穫体験を実施しています。

「由栗いも」と両町の全国的な認知度向上を目指して、生産量と販路拡大による地域活性化に取り組んでいます。



地元小学生の収穫体験



試食で品種は「べにあずま」に

ここが自慢

【ゆっくり熟成させた「由栗いも」】

クラブの行動力を活かし、各方面にアピールを行い、由仁町役場、由仁町商工会協力のもとクラブが生産したさつまいもを使用した料理を8店舗が企画販売をするイベント「由栗いもフェスティバル」を令和3年に開催しました。この活動がメディアで紹介されたことで、様々な地域の人々に私たちの育てる「由栗いも」や由仁、栗山両町のことをPRする機会になりました。オリジナルの出荷用「段ボール箱」も作成して、さつまいもによる地域のPRを進めています。



オリジナルの段ボール



熱々の焼き芋販売

連絡先

代表者名：川端 祐平さん／設立：2017年／会員：17名

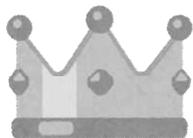
住所：夕張郡由仁町東三川3215-4

電話番号：080-1881-4073

F A X :

E-mail : ks.food.base@gmail.com

U R L :



奨励賞



当別町



島崎藤村の「若菜集」を朗読中

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
北海道当別高等学校ボランティア局
【当別町】

「青春」と「フットパス」で地域振興のお手伝い

はじめは？

平成26年に園芸デザイン科造園緑化班が農村景観を評価する学習の一環として、フットパスを開始しました。平成28年には「当別高校生も地域資源であり、若さみなぎる人材」との思いから、その名称を『当別青春フットパス』とし、企画運営を園芸デザイン科グリーンデザインコースが、家政科食物調理コースが地域食材を使った昼食を提供する現在の形式になりました。平成29年からは活動を全校的な取組みへ発展させるため、ボランティア局が企画運営を担当しています。美しい自然、美味しい農産物、開拓の歴史、豊かな当別町の景観を活かし、地域振興のお手伝いをすることを目的としています。

おもな活動

基本は部活動のため、放課後と土曜日に毎回コースとテーマを選定し、局員作成のHPや『フットパス通信』で一般参加者を募集します。開催当日は局員の案内により、町内の約5～7kmをゴミを拾いながら歩き、所々で当別町の紹介等を行います。昼食は家政科食物調理コースの生徒が地域の特産物を使った昼食をコンセプトを交えて提供します。昼食後には吹奏楽部や茶道部などの文化系部活動の活動披露や、ミニ講座を地域の研究家を講師に招いて実施しています。



校舎での昼食会

ここが自慢

【おもてなしとアドバイスで世代を超えた交流】

高校生が企画運営しているフットパスは全国的にも例がありません。フットパスに参加される方の多くは、普段から歩き慣れていることもあり、生徒よりも健脚で「大丈夫？食べなさい、飲みなさい」と生徒を気遣かう場面をよく見かけます。終了後のアンケートでは、「生徒とおしゃべりができて今日は楽しかった」と回答される方がほとんどで、当別の美しい景観と美味しい食べ物に加えて、生徒との交流が『当別青春フットパス』の大きな魅力です。



フットパスの様子

連絡先

代表者名：宮本 匠さん／設立：2017年／会員：4名

住所：石狩郡当別町春日町84番地
 (北海道当別高等学校)

電話番号：0133-23-2444

F A X：0133-23-2380

E-mail：toubetsu-z1@hokkaido-c.ed.jp

URL：http://www.toubetsu.hokkaido-c.ed.jp



奨励賞



札幌市



まっ赤に実ったリンゴを収穫

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

南区農園ガイドの会

【札幌市】

農園ガイドによる新たな都市農業のかたち

はじめは？

札幌市南区には自然豊かな環境の中に多くの農園や果樹園がありますが、市民の認知度はそれほど高くありませんでした。地域資源である農園、果樹地帯の素晴らしさを市民に知って欲しい、もっと気軽に訪れてほしいとの気持ちから、2年間の準備期間中のモニターツアー等を経て令和3年4月から本格的な活動を開始しました。

おもな活動

市民がもっと気軽に訪れることができるように、農園、果樹園地帯の資源をアピールするため、地域の農業を知ってもらうための体験プログラム等を企画実行。そのための農園ガイドの育成や協力農園を整備しています。地域の情報発信はHPや印刷物、動画コンテンツ等を利用しています。イチゴ、ハスカップ、サクランボ等の農業体験以外にも山菜ツアーやおおぞらコンサート、オーチャードヨガ等を地域と都市の交流促進のため開催してきました。農園ガイドの会は南区の農園と地域住民による



初夏のいちご狩りツアー

ガイドと地元の事業者が連携して交流人口を増やし、活力のある町づくりを目標としています。将来は農園のみならず、南区の歴史、自然、文化、産業を紹介することができるガイド事業を目指しています。

ここが自慢

【農を知る、農を楽しむ、南区を楽しむ】

農園に訪れた利用者は、南区への愛着を持った非農業者の農園ガイドと共に、様々な農業体験を行うことで、今までの果物狩りでは経験することができない付加価値を得ることができます。農園主やボランティア、地域住民とのふれあいを通じて農村部の魅力を再発見し、南区のファンを増やすことを目標にしています。農作業の合間の農園主さんとのティータイムなどの交流で、まるで田舎の実家に帰ってきたような暖かい時を感じてもらえる様な体験が出来るようにしたいです。より農村部にどっぷりと浸かる体験を企画したいと考えています。



食育体験教室

連絡先

代表者名：瀬戸 修一さん／設立：2021年／会員：20名

住所：札幌市南区簾舞1条4丁目7番2号

電話番号：070-4491-8054

F A X：

E-mail：yama2580tatsu@gmail.com

U R L：https://www.minamiku-farms.com/



北広島市



見本田での稲作体験

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北広島市水稲赤毛種保存会

【北広島市】

寒地稲作発祥の歴史と道産米のルーツ「赤毛米」を継承する

はじめは？

北広島市は「寒地稲作の父」と呼ばれる中山久蔵が明治時代に道南以北では栽培が困難であった寒地稲作を成功させた「寒地稲作発祥の地」であり、道産米のルーツとされる赤毛種が継承されてきました。

昭和59年に北広島市が開基100年を迎えた節目に歴史的に重要な赤毛種を絶やしたくないという声から見本田を復活させ、保存・栽培に取り組むことを目的に、平成4年に北広島市水稲赤毛種保存会が発足しました。

おもな活動

赤毛種の保存と栽培に取り組んでいます。明治時代に中山久蔵が居住していた旧島松駅通所の横に復活させた見本田では、赤毛種を使用した体験学習を行っており、市内の小学生が田植えや、稲刈り体験をしています。刈り取り後は、学校に稲を持ち帰り、足踏み脱穀機などの昔ながらの作業を体験して、最後は自分たちでおにぎりを作って食べることを通じて寒地稲作発祥の歴史を学んでいます。



見本田全景



はさ掛け

ここが自慢

【食育と地域振興に貢献したい】

市内の小学生は、赤毛米の栽培体験を通じて北広島の歴史を学習し、郷土愛が芽生えるきっかけとなっています。北広島商工会では、赤毛米を原料にした日本酒、酒粕や米粉を使用した商品を次々に企画しており、赤毛米をモチーフにしたご当地キャラクター「きたひろ まいピー」によるPR活動も展開されています。見本田がある旧島松駅通所は現北海道大学の初代教頭であったクラーク博士が帰国の際に金言を残した地でもあります。



寒地稲作発祥の碑



旧島松駅通所ライトアップ

連絡先

代表者名：三戸 修さん／設立：1992年／会員：2名

住所：北広島市中央4丁目2番地1
(北広島市経済部農政課)

電話番号：011-372-3311

F A X：011-372-0888

E-mail：nousei@city.kitahiroshima.lg.jp

URL：<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00128533.html>